

各位

会社名 株式会社インソース
 代表者名 代表取締役 執行役員社長 舟橋 孝之
 (コード番号: 6200 東証第一部)

**DX (デジタルトランスフォーメーション) 人材育成サービスを提供開始
 ~DX (デジタルトランスフォーメーション) を人材育成で実現し、企業変革のドライバーにする**

「働くを楽しくする」サービスを提供する株式会社インソース(本社:東京都千代田区、代表取締役執行役員社長:舟橋孝之、証券コード:6200、以下「当社」)はこの度、DX(デジタルトランスフォーメーション)人材育成に関するサービスの提供を開始することをお知らせします。

急速な社会の変化に伴いDX推進が各組織で求められています。DXを推進すべきだとわかってはいるが実現できない、そもそも推進できる人材がないという声が多くあるのが現状です。そこでこの度、当社はDX人材を育成するための新たなサービスを開発いたしました。

■DX (デジタルトランスフォーメーション) とは

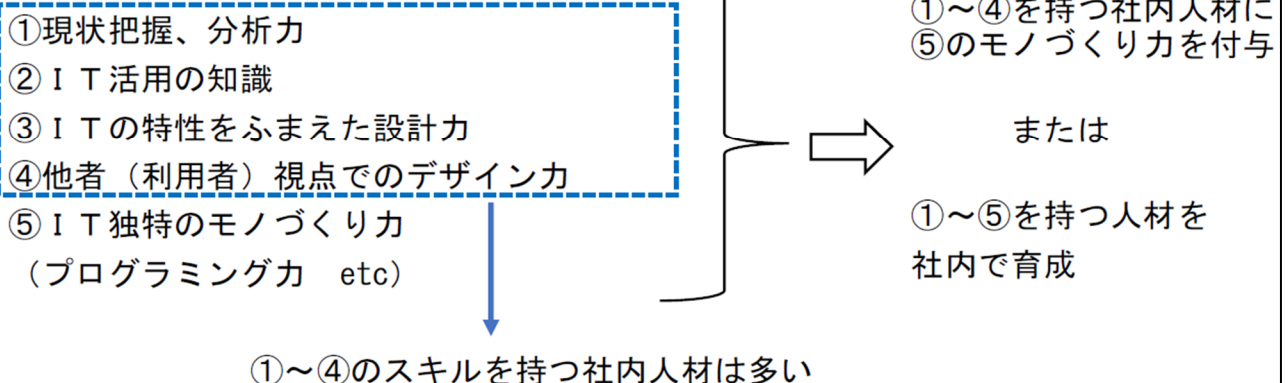
データとIT技術を活用して破壊的イノベーションを実現することです。データとITで①新しいビジネスモデル、新商品、新サービスを実現すること②業務プロセスを改善・再構築し、ダイナミックな生産性向上やコスト削減を実現することです。

■プログラミングができる人材だけがDX (デジタルトランスフォーメーション) 人材ではない

総務省の「平成30年版 情報通信白書」にて、「AI導入を先導する組織・人材が不足している」と答えた組織は、日本が29.1%なのに対し、諸外国は12%前後となっています。DX・AI・ITは「専門職」が担うものと捉えられがちですが、プログラミングができる人材だけがDX人材ではありません。データ活用とITの知識を持ち、新サービスの実現や業務改善に活用できれば、社内にいる人材でDXを推進することができます。

■DX (デジタルトランスフォーメーション) 人材育成とは

DX人材に求められるITスキルは大きく5つに分解できます



■社内人材の活用こそが早くて安くて高品質なDX (デジタルトランスフォーメーション) 推進の鍵

インソースでは内部人材のDX人材化こそが推進の鍵であると考えています。内部人材は社内に精通しているため、データ活用とITスキルを身に付けることで早くて安い、かつ高品質のシステムを開発することができます。自社の事業を知り、その課題、可能性を知っている人材がDX知識を身につけることで、DX革命をスピード感を持って進めることができると考えています。

サービス名称	D X人材育成サービス
サービス概要	<p>業務内容に応じてレベル0～レベルXまで6段階でD X能力をレベル分けしており、学ぶべき内容を定義しております。</p> <p>①システム理解・IT理解 ②OAツール ③RPAツール ④データサイエンス ⑤プロトタイピング ⑥データベース ⑦参照系システム開発 ⑧更新系システム開発</p> <p>本サービスの研修プログラム内容詳細(一例)は、こちらからご覧いただけます。 https://www.insource.co.jp/bup/it-school-digital-academy.html</p>
受講対象レベル	<p><レベル0> 対象：社長および役員 到達目標：D Xとは何かを理解しており、かつデータの活用やITについて考えることができる</p> <p><レベル0-2> 対象：管理職 到達目標：自組織のD X化を推進することができる(最低限、業務改善を主導できる)</p> <p><レベル1> 対象：本社(非営業部門)の企画職社員 到達目標：自部署のD Xを具体化できる(システムの要件定義をし、プロトタイプ(画面遷移図・帳票)を作ることができる)</p> <p><レベル2> 対象：D X中核社員 到達目標：自社および自部署の簡単なD Xを実現できる(データベースを参照する開発ができる)</p> <p><レベル3> 対象：システム関連部署の社員 到達目標：D X人材として、多様な開発ができる(更新系システムも開発できる)</p> <p><レベルX> 対象：一般社員(営業職、製造職、総務職など) 到達目標：自身の業務においてRPAを活用し、改善できる</p>

当社では、今後さらにD X革命に寄与していくべく、ますます開発スピードを高めてまいります。

以 上

【お問合せ先】株式会社インソース

<https://www.insource.co.jp/index.html>

(取材・広報に関して)

社長室(稲田・石川)

TEL: 03-5259-0070

(サービス内容に関して)

社長室(安藤)

TEL: 03-5259-0070